

令和5年 6月1日

智頭町議会

議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員	仲	井	莖	
〃	西	尾	寿	樹
〃	岡	田	光	弘
〃	宮	本	行	雄
〃	田	中	賢	
〃	谷	口	翔	馬
〃	波	多	恵	理子
〃	大河原	昭	洋	
〃	安	道	泰	治
〃	谷	口	雅	人

議員派遣結果報告書

令和5年4月17日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 派遣名 議会報告会

2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会

3 派遣場所及び期間

- | | | |
|------------------|----------------|-----------|
| (1) 智頭町埴師54番地 | 「土師地区公民館」 | 令和5年5月 8日 |
| (2) 智頭町郷原259番地 | 「山形第一地区公民館」 | 令和5年5月 8日 |
| (3) 智頭町大背205番地 | 「旧那岐小学校」 | 令和5年5月 9日 |
| (4) 智頭町福原19番地 | 「旧山郷小学校」 | 令和5年5月 9日 |
| (5) 智頭町智頭2072番地1 | 「智頭町総合センター」 | 令和5年5月10日 |
| (6) 智頭町新見371番地1 | 「富沢コミュニティセンター」 | 令和5年5月10日 |

4 概要

別紙1～6のとおり

別紙1

令和5年度 議会報告会結果概要(土師地区)

1. 日 時 令和5年5月8日(月) 18:30~19:40
2. 出席議員 仲井・宮本・田中・安道・谷口雅
3. 場 所 土師地区公民館
4. 参加人数 27人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

議員報酬について

問 議員報酬の状況はどうなっているか。

答 報酬については、放っておいたら7月から28万円となる。議員の数を減らした方がよいとの意見も聞いている。現状では若い人が出にくい。ほぼ現状維持の額である。

人口減少について

問 人口減少についてどう考えているのか。

答 智頭町だけでなく日本全国この問題を抱えている。どこかの町が新しい施策を実施すると、2年もすると他の自治体と同じような取組みをするのが現状であるが、智頭町は子育て支援については、他の自治体より手厚く施策を実施している。

共助交通について

問 共助交通の仕組みが分かりづらく、利用方法が良く分からない。当初はシルバー人材センターが共助交通の受付窓口になっていたと思うが、いつの間にか役場が変わっていた。情報を提供するのが遅すぎるのではないか。

答 町としては、町民の利便性を少しでも良くすることが大切だと思う。今回の議会報告会では、課題や疑問点などを少しずつでも改善するためにそのような意見を聞かせてほしいという思いである。

問 迎えについて、乗車場所に行くのが大変である。困っている人がいる現状を知ってほしい。

答 同じ運転手が送迎をすれば問題ないと思う。

問 一か所から続けて外の所へ行くたびに500円を払うのは改善してほしい。

答 共助交通をよく利用される場合は、定期券を利用してほしい。

町有林について

問 町有林について、どのような計画を持っているのか。計画的に山の管理を行っているとは思えない。今後は、計画的に実施する必要があるのではないか。

答 町有林や山のことを完璧に理解している議員はいない状況である。

問 町有林は町の大事な財産なので、水の保全についても、町の担当課、森林組合とも話し合いをしていくことが必要だと思う。

答 そのようなことも含めて、今日実施している議会報告会で議員が様々な意見・問題を聞いて、町執行部に伝えていくようにする。そのための報告会である。

(2) 意見・要望

共助交通について

- ・共助交通に定期・定路線を考えてほしい。
- ・共助交通については、運転手さんの確保が一番の問題ではないか。

その他

- ・議員に出た以上、精一杯頑張ってもらいたい。

別紙2

令和5年度 議会報告会結果概要(山形地区)

1. 日 時 令和5年5月8日 (月) 18:30~20:15
2. 出席議員 西尾・岡田・谷口翔・波多・大河原
3. 場 所 山形第一地区公民館
4. 参加人数 17人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑内容

議員報酬について

問 議員報酬を増額した根拠は。

答

1. 議員間で決められなかったので審議会の設置を要請した。審議会の議論の過程の中で、25年間一円も上がってないこともあり、活動量も増大していることから、町職員の係長級の金額が妥当であるという結論に至ったこと。
2. 令和3年9月から令和4年8月末までの1年間、活動量の調査として全議員を対象に週報の提出を義務化し、活動内容や活動時間、日数を集計した。
3. 令和3年7月に執行された町議会選挙で、大きな争点となった議員報酬問題において、付託を受けた議員で1年半議論を重ねてきたこと。

共助交通について

問 現状のままだと「高齢者は家にいろ」と言われているのと同じ。交通は福祉の一環。今までどんな議論を議員間で行なってきたのか知りたい。

答 予算のことやスクールバスのこと、定時定路線のこと、説明不足のことなど様々な観点から執行部との話し合いを重ねてきた。

(2) 意見・要望

問 トスクの支援については。

答 県が補助を検討している、町も別の形で応援していきたいと思う。

問 台風を前にして倒木の危険性がある。予防伐採を検討してほしい。

い。

答 執行部に要望している。

共助交通について

- ・スタートした以上は、住民のために制度を改善して行ってほしい。
- ・ドライバーになって、一月経過した、喜んでいる利用者もたくさんいる。乗りあいタクシーの予約方法については高齢者も努力して利用してほしい。
- ・本当のことを議員が調査してはどうか。一番困っている、声を出せない人たちをどうやって助けていくかを考えていくことが大切だ。
- ・ドライバーの立場から、一番込み合う時間帯6時から9時の人数を3～4人から5～6人に増やしてほしい。
- ・現在行われている共助交通のメリット、デメリットを教えてください。議会だよりの号外を出してはどうか。
- ・チケットの購入場所を増やしてほしい。(各地区の郵便局や公民館などを企画課が検討中)

その他

- ・野菜直売所の生産者のことも考えてほしい。
- ・予防伐採について若桜町に勉強に行ってはどうか。

別紙 3

令和5年度 議会報告会結果概要（那岐地区）

1. 日 時 令和5年5月9日（火） 18:30～20:45
2. 出席議員 仲井・西尾・宮本・安道・大河原
3. 場 所 旧那岐小学校
4. 参加人数 30人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑内容

議員報酬について

問 議員報酬は28万円のままで改正しないのか。

答 全員協議会で議論した中で、町内の経済状況を踏まえ、残り2年間の任期中は6月の定例会議において特例条例を上程し、22万9,000円に近い金額に減額する予定。

議員定数について

問 智頭町において議員定数12人は適正なのか。10人という議論はしているのか。

答 全員協議会で今年度12月の定例会までに議論を重ねて結論を出す予定としている。議員定数と報酬問題は分けて考える必要がある。

町政について

問 那岐駅舎で診療をされている医師の方々の診療環境に配慮してもらいたい、先生が気の毒である。

答 改善できるところは、病院事業管理者に一言伝えておく。

問 病院職員の対応に関して、何か対処されたのか。

答 出前広報があった次の日には、高齢者に対する配慮について病院事業管理者に伝え、改善する協議をお願いした。

問 空き家が400戸から500戸に増えているが、現状と対策はどうなっているのか。

答 智頭町でも空き家は400～450戸ほどあり、危険空き家に指定されているのが5件ある、そのままにしておくことで、固定資産税が安くなるので解体が進まない。町として解体費用に100万円の補助を出している。空き家による災害が起きた時、まずは持ち主が責任を取る。

問 村に除雪機の貸与をお願いしているがまだ選定されていない。村が自前で購入する場合、町の補助はないのか。

答 今年度の除雪機の貸与は10台であり、4台増えたが要望が27集落ある。古いものからの選定となるので台数は限られている。村が自前で購入する場合の補助金は、今はないと思われる。

問 林業のことであるが、環境譲与税の使い道を地方に目を向けてほしいことと、倒木被害の対策はどうしていくのか。

答 議会としても環境譲与税の増額は、国に陳情をすでに上げている。倒木対策は県が審議会を開くので、早く優先順位を付けて伐採するように要望する。

共助交通について

問 タクシーの待ち時間が1時間以上になることがある、待ち時間がどれ位か分かるようにならないか。のりりんのステッカーが見にくい。

答 AIが管理し決定するので、今の時点では返答できない、ステッカーの見にくさに関しては企画課に打診しておく。

問 この乗り合いタクシーでは若者がいづらく町外に出ていく、定住をこの町が目指すのであれば、水道・ガス・電気のようにライフラインとして移動手段を確保するため、町民バスの運行を願う。

答 議会としても不便に思っている方が多い事を感じているので、報告会で上がって来た意見や問題点を全員協議会で考え議論していく。

(2) 意見・要望

問 トスクが撤退するが、百菜館で野菜を販売している生産者から、次に来る事業者でも販売できるように要望してほしい。

答 まだ議会の方に経過は届いていないが、機会があれば要望する。従業員の利用に関しては、引き続き雇用していただけるよう、すでに要望を上げている。

別紙 4

令和 5 年度 議会報告会結果概要(山郷地区)

1. 日 時 令和 5 年 5 月 9 日(火) 18:30~19:40
2. 出席議員 谷口雅・谷口翔・波多・田中・岡田
3. 場 所 旧山郷小学校若杉ホール
4. 参加人数 3人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

議員報酬について

問 議員報酬カットではなく、正式な条例を作ってはどうか。なぜ特例条例で対応するのか。

答 審議会の設置をお願いし、その答申を尊重している。

問 今の議員報酬では生活できないので、議員に向かえない。上げて欲しかった。

答 26年間、1円も上がっていない。今後多様な人材、若い人が立候補しやすいように上げるのがよいが、反対の声もある。

問 一度に5万1千円は上げすぎ。

答 今後は段階的に上げていくことも含めて検討している。

人口減少対策について

問 人口減少対策、高齢者対策について智頭町はどう考えているのか。

答 人口減少は全国的な問題であり、住む場所だけでなく、総合的に考えていかなければならない。

問 若い人がどんどん出ていく危機感を持って欲しい。

答 人口減少対策の先進地、島根県邑南町と美郷町に視察に行ってきた。子育て支援に関しては智頭町も充実していると再認識したが、なかなか出生率増加に繋がっていない。去年は新生児17名だった。これを減らすわけにはいかないと考える。

(2) 意見・要望

議員報酬について

- ・公民館役員の手当はカットされていくのに、議員だけ上がるのはおかしい。

共助交通について

- ・共助交通を実際に利用して実態調査をすべきではないか。

その他

- ・若い人が地元に残れる、帰ってこれる政策を考えて欲しい。
私はそのためにこんなことをしているという議員が一人でもいたら安心できる。
- ・議会広報を毎月出してほしい。もっと活動内容を町民に伝えるべきではないか。
- ・もっと報告会に積極的に出向いてはどうか。

別紙5

令和5年度 議会報告会 (智頭地区)

1. 日 時 令和5年5月10日(水) 18:30~20:00
2. 出席議員 岡田・谷口翔・波多・大河原・谷口雅
3. 場 所 智頭町総合センター大集会室
4. 参加人数 18人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換会

(1) 質疑内容

共助交通について

問 多くの町民が共助交通について不満を持っている。一般質問したのは1名だけだった。他の議員の質問はなかったのか。

答 始まってしまったので、これから改善していかなければならないと思っている。対症療法的に個々に執行部に伝えたり、全員協議会で意見をまとめ執行部に提案していく。対症療法できるものと抜本的に解決することを分けて考えていく。

問 この問題は3年前から始まっているが、議会として改善策を考えてこなかったのか。

答 議会としても執行部とのやり取りを重ねてきた。それにより改善されてきた部分もあるが、今後も住民の皆様が不安にならないようしていかなければならない。

議員報酬について

問 今回の県議選で三つの選挙区で無投票だった。智頭町議会は無投票は民主主義の根幹を揺るがすことになるため、なり手不足の解消のためにと報酬増額を決めたが、県議選の無投票についてはどう思うか。

答 それぞれの選挙区の事情がある。山郷での報告会でも今の報酬では会社を辞めてまで出られないとの意見も出た。

問 兼業しやすい環境を整えるほうが先ではないのか。

答 総務省に要望し、兼業の緩和が行われた。

問 報酬を上げたら仕事をやめて議員に立候補できるか。

答 報酬の引き上げも必要。

問 他の要因は。

答 議員に関心がない、魅力がない、子ども議会を行ってはどうかの議論も行っている。議会の見える化が大切と考える。

問 この報告会の資料になぜ報酬について載っていないのか。

答 決まっていないことは報告できない。

問 見える化と言いながら、見える化できていないではないか。決まったことばかりが載っている。

答 決まっていないがこういう方向で行くという報告はしている。

問 報酬について町民の意見を聞くのか聞かないのか。

答 議会以外に決めるところはない。

人口減少対策について

問 島根県邑南町、美郷町はどのように調べたのか。

答 総務常任委員会で若者流失をいかに食い止めるかの議論をしている。若い人が住む定住促進住宅に着目し、インターネットなどで探した。

問 2045年には若桜町の今の人口になると聞いている。隣の奈義町に勉強に行ってはどうか。

答 中断していた奈義町との交流が本年度より再開する。学習していきたいと考える。智頭町は子育て支援が充実しているが、PRが不足している。学んだことを今後に活かしていきたい。

その他

問 商工会との意見交換会の内容についての詳しい説明を求める。

答 国の持続化給付金の基準に当てはまらない小規模事業者に対し、智頭町独自のコロナ対策を議会提案で行った。

(2) 意見・要望

議員報酬について

- ・見える化と言いながら 結論だけはいらない。
- ・決まるまでに町民の意見が反映されていないから、議会に魅力がないのではないか。

- ・決まるまでの過程を知りたい。
- ・報酬据え置きを町の経済状況にしてしまうと上げづらくなるのではないか。肌感覚ではなく客観性のあるデータを集めたほうがよいのでは。

別紙6

令和5年度 議会報告会結果概要（富沢地区）

1. 日 時 令和5年5月10日（水） 18:30～20:00
2. 出席議員 仲井・西尾・宮本・田中・安道
3. 場 所 富沢コミュニティセンター
4. 参加人数 13人
5. 概 要 「議会報告会資料」と報酬に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑内容

議員報酬について

問 町の財政状況を考えれば報酬を上げるなんて馬鹿げている。報酬の議論をする際に、智頭町の所得水準はどうなっているのかという議論はあったのか。自分はダブルワークをしているが1か月20万円いかないくらい。報酬を上げるという事は、すごく重い事だという認識をしていただきたい。

答 上げるというのではなく、今説明した通りなので2年かけて議論していく。

問 議員が40万円に上げ、20万円は国から補助金を取るという事を言っている。

議会について

問 議員の働きが見えないという声を聞くが、どのように考えているのか。

答 執行部に対する批判と監視、議案が上がってきたものを最終決定する、それが職責であると考えている。現在行っているように集落に出向いて報告会をし、地元の方の意見を聞きながら執行部に伝えていく、そういう事を続けていきたい。

町政について

問 子どもの待機場所として月曜日に図書館を解放してもらえないか。

答 所管の担当課に伝えておく。

問 ふるさと納税の現状は。

答 新しく牛肉などが加わり増えてはきている。

問 1億円くらいないと恥ずかしいと思わないといけない。

材木などを使ってもっと力を入れて行って欲しい。

問 現在電気代が上がってきているが、町として水力発電を増設していくのか。

答 現実的になるかはわからないが、3年くらい前には小水力発電の話は出ていた。東京の会社にはなるが、測量まではしているところはある。

(2) 意見・要望

問 高齢者対策をしてほしい。町長に相談すると担当課に聞いてくれと言われた。

答 議会の中で話をもみながら担当課に伝えていくということをしていきたい。

問 以前にも話をしていて、分谷のうめが谷の土砂の件（県道が通っているところ）で無償の事業がないのはどう考えてもおかしいのではないか。災害が起こってからでは遅いので、議会からもっと働きかけて欲しい。

答 所管の担当課に確認します。

問 高齢者も大切だが、若い方の定住が必要なのではないか。視察に行って終わりではなく、良いところは取り入れていかないといけないのではないか。

答 一般質問でも提案はしているがすぐには取り入れてもらえない。

問 人口が増えている奈義町に視察に行って、智頭町とどこが違うのか考えていかないといけないのではないか。

答 奈義町とは交流を続けているが、コロナ禍で新人議員はまだできていない。今年度から再開していく。

問 いいところをもっとアピールして行ってほしい。

問 ここから上の4部落までの道のカーブを緩やかにしていくという話をしていたがこの話はどうなっているのか。

答 芦津が終わったからというところまでは聞いている。

問 青写真みたいなものはあるのか。

答 確認して報告させていただく。

共助交通について

- ・高齢者の方は、A I タクシーの予約が難しい。利用する方は高齢者の方が多いので、分かるように徐々に進めていただきたい。
- ・進行状況はどうなっているのか。
- ・企画課が独断で走っているように見える。
- ・他の課との連携はとれているのか。
- ・実証実験の検証で、細かい配慮が欠けていたのではないか。
- ・若桜は300円、河原は200円である。ドライバーは、時間は長いかもしれないが6,000円もらっている。トスクに行くのに片道500円も払えない。
- ・乗降ポイントとして個人の土地が勝手に使われていた。
- ・高額なシステムを返上して電話にすればいいのではないか。元に戻してはどうか。
- ・毎日予約しないといけない煩わしさを何とかできないか。

その他

- ・共助交通に関するプロセスや町有林の条例の全改正に対してチェックが甘すぎる。これは議員の怠慢ではないか。
- ・運行管理者をつけて町でバスの管理をすればいいのではないか。
- ・固定資産の税率が高いままになっているので元に戻すべきではないか。